

## ○今月の病害虫発生状況○

- ・ **うどんこ病**及び**灰色かび病**の発生は少ないです。
- ・ **アブラムシ類**の発生はやや多いです。
- ・ **ハダニ類**、**コナジラミ類**及び**アザミウマ類**の発生は平年並からやや少ないです。

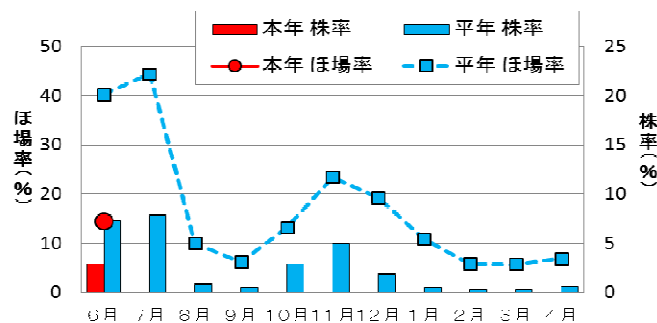


図1 うどんこ病発生ほ場率・株率

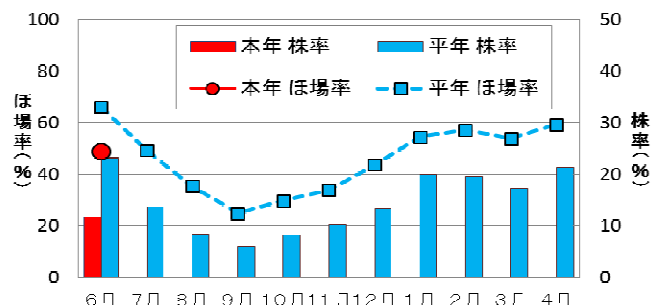


図3 ハダニ類発生ほ場率・株率

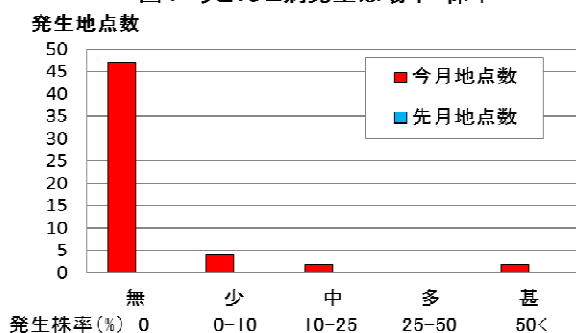


図2 うどんこ病発生程度別の地点数

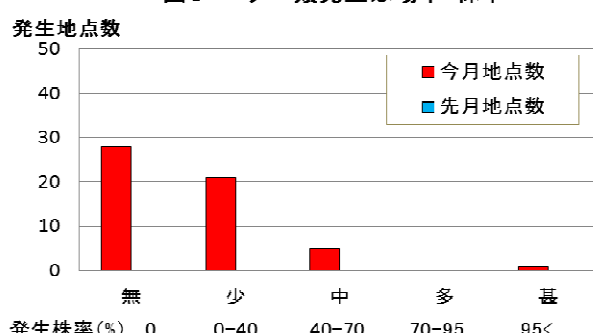


図4 ハダニ類発生程度別の地点数

## ○今月の技術情報（技術指導班）○（6月）

・ 高温傾向で降水量が少なかったため、病害の発生は平年よりも少ない状況でした。しかし、6月6日に梅雨入りしており、今後曇雨天が多くなると病害が発生しやすくなります。育苗ほの一部では、すでにうどんこ病の発生が確認され、やや多く発生しているほ場も見られますので、ほ場観察と発生予察情報を参考に防除意識を高めましょう。

・ まもなく採苗作業が始まります。この時期の適切な管理が、今後の良質苗の確保に大きな影響を与えます。高温傾向で根が傷みやすい環境にあります。根の周りの水が滞留した状態では病原菌が繁殖しやすくなりますので、適切なかん水量や排水に注意しましょう。

・ 一方、害虫では、高温で降水量が少なく乾燥した状態が続いた影響もあり、アブラムシ類、ハダニ類の発生が平年並かやや多く見られますので、早期発見と適期防除に努めましょう。育苗ほのみでなく、ほ場周辺的环境整備もしっかり行いましょう。



写真1 葉のうどんこ病



写真2 糸を張るナミハダニ